

新民協第10号  
平成29年4月7日

区自治協議会委員 各位

新潟市長 篠田 昭  
(担当 市民生活部市民協働課)

にいがた市民大学受講料の助成について（ご案内）

日ごろ、市政運営にご理解とご協力をいただき、御礼申し上げます。

さて、区自治協議会委員研修を拡充し、区自治協議会のさらなる活性化を図るため、委員の皆様が「にいがた市民大学」を受講なさる場合に、その受講料の一部を助成いたします。裏面及びパンフレットをご覧ください。

お問い合わせ先  
新潟市役所 市民生活部 市民協働課  
担当：小野寺・今井  
電話：025-226-1105（直通）  
FAX：025-228-2219  
Mail：shiminkyodo@city.niigata.lg.jp

## にいがた市民大学受講料助成の概要

<p><b>1 助成対象者</b></p>	<p>全区の区自治協議会委員のうち、希望者 10 名 希望者が 10 名を超えた場合は、抽選とさせていただきます。</p>
<p><b>2 助成対象講座</b></p>	<p>○ 2050 年の新潟市を展望する ※1 ○ 思春期・青年期・成人期のこころの健康講座 ○ 人間と動物のつながり ○ 新潟の川・潟とくらし ※2 ○ ロボットと生きる ※3 ※1～3 は前期講座と後期講座がありますが、助成対象は前期講座です。</p>
<p><b>3 助成額</b></p>	<p>5,000 円（受講料 1 万円の半額を助成します） ※助成は 1 人 1 講座まで</p>
<p><b>4 お申込みの流れ</b></p>	<p>① パンフレットをよくお読みいただき、にいがた市民大学事務局へ受講申込みをしてください。申込書は、パンフレットの最終面にあります（申込み締切：5 月 7 日（日））。※締切までに定員に達しない場合は、追加募集があります。</p> <p>② にいがた市民大学事務局から受講決定の連絡を受けた人は、受講料を納入し、別紙(1)助成申込書を市民協働課へ提出してください（提出締切：6 月 9 日（金））。</p> <p>③ にいがた市民大学の講座を受講してください（6 月～9 月）。</p> <p>④ 講座修了後、修了証書の写しと受講料納入の領収書原本を添えて、別紙(2)助成金交付申請書を市民協働課へ提出してください（提出締切：9 月 29 日（金））。</p>
<p><b>5 注意事項</b></p>	<p>① にいがた市民大学の受講が決定しても、助成の希望者が 10 名を超えると、助成は抽選になります。この場合、抽選から漏れた方は、受講料が全額自己負担となります。あらかじめご了承ください。</p> <p>② 受講料は、いったん全額をお支払いいただきます。助成金の交付は、概ね 10 月下旬以降となります。</p> <p>③ 講座を修了できなかった場合は、助成できません（出席率 70%で修了となります）。</p> <p>④ 助成金交付申請書提出前に区自治協議会委員の資格を喪失した場合は、助成できません。</p> <p>⑤ 助成金交付申請書提出の際、修了証書の写しと受講料納入の領収書原本が必要となりますので、失くさないよう大切に保管してください。</p>

平成 年 月 日

（宛先） 新潟市長

## 新潟市区自治協議会委員研修助成申込書

新潟市区自治協議会委員研修助成要綱第3条の規定に基づき、助成を申込みます。

1 氏 名 \_\_\_\_\_ 印

2 所属区自治協議会 \_\_\_\_\_区自治協議会

3 受講講座 \_\_\_\_\_

## 別紙（２）

平成 年 月 日

（宛先） 新潟市長

## 新潟市区自治協議会委員研修助成金交付申請書

新潟市区自治協議会委員研修助成要綱第5条第1項の規定に基づき、助成金交付の申請を行います。

所属 区自治協議会	区自治協議会	氏名	印
住所	〒	電話番号	
受講講座			
助成申請額	5,000円		
振込先	銀行		支店
	普通 当座 該当するものに○	口座番号	
	口座名義人	フリガナ	
添付書類	①修了証書の写し ②受講料納入の領収書		



# にいがた 市民大学



現代の社会問題コース (大学コンソーシアム連携講座)

2050年の新潟市を展望する  
—一次世代の地域活性化への処方箋—

人間理解コース

思春期・青年期・成人期のこころの健康講座  
—こころの健康問題と対策について考えよう—

人間理解コース

人間と動物のつながり  
—動物が私たちに教えてくれること—

新潟学コース

新潟の川・潟と暮らし —水との共生のあゆみ—

生命・自然科学コース

ロボットと生きる

申し込み締め切り

平成29年 5月7日(日)

平成29年度  
第23期生  
募集案内

お問い合わせ

にいがた市民大学事務局

TEL. 025-224-2088

FAX. 025-223-4572

# 第23期(平成29年度) にいがた市民大学の特色

- ◆市民の高度で専門的な学習要求に応え、その成果を地域に還元していく場を目指します。
- ◆時代と社会の要請に応え、新潟の地域性や方向性を考慮したテーマや課題について、多様な学習ができる場を目指します。
- ◆1年を前期と後期の2期に分け、前期を多人数の講義形式、後期は少人数のゼミナール形式で行います。後期ゼミナールでは、テーマや課題を掘り起こし、意見の発表や討論、グループでの調査・研究、現地学習なども取り入れます。

対 象	■原則として、新潟市に在住、在勤、在学する方
定 員	■各講座 前期:70人 後期:20人(一部10人) ※一部後期を実施しない講座もあります。 今回は、前期の受講者を募集します。応募者多数の場合は抽選となります。 <b>後期については、当該講座の前期受講者から別途募集します。</b> ※各講座の応募者が前期は20人、後期は10人に満たない場合、講座を実施しないことがあります。
会 場	■新潟市生涯学習センター (クロスパルにいがた:新潟市中央区礎町通3ノ町2086番地)ほか
学習方法	■前期:講義10回 各分野でご活躍の講師が専門的な内容をわかりやすくお話しします。 ■後期:ゼミナール5回~10回 講師の指導のもと、少人数で主体的に学習を進めます。 ※講座の内容などにより、日時の変更をすることがあります。
受講料	■1講座につき前期:10,000円 後期:ゼミナール回数×1,000円 納入方法は、受講決定をお知らせする際にご案内します。 納入された受講料は、原則としてお返ししませんのでご了承ください。
その他	■講師の緊急な都合などにより、講師・日程等を変更することがあります。

※申し込み方法は、9ページをご覧ください。



# 入学式 兼 公開講演会



齋藤 孝 氏

## 日本語力と身体感覚を育てる

ベストセラーとなった「声に出して読みたい日本語」で日本語ブームを作り、教育学、身体論、コミュニケーション論を専門とされている齋藤先生に、日本語力を中心として、前向きに生きる心と身体的能力を身に付け、人間関係を作るコミュニケーション力を育てる、身体感覚についてお話しさせていただきます。

**【日 時】 平成29年5月27日(土) 午後2:00～午後3:40(開場1:30)**

**【会 場】 新潟市民プラザ** (新潟市中央区西堀通6番町866番地 NEXT21ビル6階)

- 【内 容】**
- ・元にいがた市民大学受講者による自主グループ活動をご紹介します。
  - ・各講座の講座紹介を行います。
  - ・明治大学文学部教授 齋藤孝氏による講演を行います。
  - ・手話通訳、要約筆記があります。

### 公開講演会 講師プロフィール

さいとう たかし  
**齋藤 孝氏** 明治大学文学部教授

1960年、静岡県生まれ。東京大学法学部卒業。東京大学大学院教育学研究科博士課程を経て現職。専門は、教育学、身体論、コミュニケーション論。『身体感覚を取り戻す』(NHK出版)で新潮学芸賞受賞。2001年刊行の『声に出して読みたい日本語』(草思社、毎日出版文化賞特別賞受賞)がシリーズ260万部のベストセラーになり日本語ブームをつくった。著書累計出版部数は1000万部を超える。

主著に、『読書力』(入試出題率No.1)『コミュニケーション力』『古典力』『新しい学力』(岩波新書)、『現代語訳学問のすすめ』(ちくま新書)、『論語』(ちくま文庫)、『語彙力こそが教養である』『文脈力こそが知性である』(角川新書)、『雑談力が上がる話し方』『会話がはずむ雑談力』(ダイヤモンド社)、『知性の磨き方』(SB新書)等多数。

NHK Eテレ「にほんごであそぼ」総合指導。

日本テレビ系「世界一受けたい授業」「情熱大陸」

TBSテレビ系「新・情報7days ニュースキャスター」「あさチャン!」MC等  
テレビ出演多数。

## 第23期(平成29年度)にいがた市民大学開設講座一覧

コース名	講座名	曜日・時間	会場	定員	受講料
現代の社会問題 (大学コンソーシアム 連携講座)	2050年の新潟市を展望する — 次世代の地域活性化への処方箋 —	土曜日 午後4時～6時	生涯学習 センター	前期:70人 後期:20人	前期 10,000円 後期 ゼミ回数 ×1,000円
人間理解	思春期・青年期・成人期の こころの健康講座 — こころの健康問題と対策について考えよう —	金曜日 午後7時～9時	生涯学習 センター	前期:70人	10,000円
人間理解	人間と動物のつながり — 動物が私たちに教えてくれること —	土曜日 午後1時～3時	生涯学習 センター	前期:70人	10,000円
新潟学	新潟の川・潟とくらし — 水との共生のあゆみ —	火曜日 午後7時～9時	生涯学習 センター	前期:70人 後期:20人	前期 10,000円 後期 ゼミ回数 ×1,000円
生命・自然科学	ロボットと生きる	土曜日 午前10時～12時	生涯学習 センター	前期:70人 後期:10人	前期 10,000円 後期 ゼミ回数 ×1,000円

## 第23期にいがた市民大学講座開講時期一覧

講座名 (日程)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(H30) 1月	2月	3月
2050年の新潟市を展望する — 次世代の地域活性化への処方箋 —	前期(全10回)						後期			
思春期・青年期・成人期の こころの健康講座 — こころの健康問題と対策について考えよう —	前期(全10回)									
人間と動物のつながり — 動物が私たちに教えてくれること —	前期(全10回)									
新潟の川・潟とくらし — 水との共生のあゆみ —	前期(全10回)					後期				
ロボットと生きる	前期(全10回)						後期			



# 現代の 社会問題 コース

(大学コンソーシアム  
連携講座)

## 講座コーディネーター

長岡大学経済経営学部教授・  
附属図書館長

松本 和明

# 2050年の新潟市を展望する — 次世代の地域活性化への処方箋 —

## 趣 旨

地域の将来のあり方をめぐっては、「地方消滅」あるいは「地方創生」等かまびすしい昨今です。

新たな時代に向けては、過去をふりかえり、現在を見据え、将来を展望する時間軸を念頭におきつつ、サステナビリティ（持続可能性）とイノベーション（革新）をより強く意識し、日々の行動規範とすることが必要不可欠といえます。

本講座では、2050年の新潟市域のあるべき姿を様々な角度から考えます。



## 学習方法

前期：講義

後期：ゼミナール

## 前期受講料

10,000円

## プログラム・指導講師

土曜日 午後4時～6時

回	月日	テーマ	内 容	講 師
1	6/10	1950年の新潟市域	新潟市域の現在を見つめ、将来を展望するには歴史をふりかえることが重要です。1950年前後の市域の動向を検討します。	長岡大学経済経営学部 教授 松本 和明
2	6/17	新潟の米菓製造業の 現状と今後	米菓は、新潟県が全国一の生産高を誇っています。新潟の「強み」である米菓製造業の現状と今後の方向性について展望します。	長岡大学経済経営学部 准教授 栗井 英大
3	6/24	「技学」で新潟を元気に	技術と科学を人間の営みとして捉えなおしたのが「技学」です。「技学」をベースとした産業・ビジネスの活性化を考えます。	長岡技術科学大学 名誉教授 新原 皓一
4	7/1	農村地域の景観を考える	農業の低迷は地域の景観保護の観点からも問題です。食料生産と生物多様性の場としての農村地域のあり方を展望します。	長岡造形大学 建築・環境デザイン学科 教授 上野 裕治
5	7/8	これからの地域社会に 必要な緩やかなつながり	少子高齢化、人口減少が進むなかで人と人のつながりのあるべき姿を山梨県で広く普及している「無尽講」をヒントに検討・考察します。	長岡大学経済経営学部 准教授 米山 宗久
6	7/15	地域における民主化とは	新潟の戦後の歩みをふりかえりつつ、地域の民主化のあり方について、住民、議会、行政・首長の主体性に立脚して考えます。	新潟国際情報大学 国際学部 教授 越智 敏夫
7	7/22	地域中堅・中小企業の グローバル化	新潟市域には独自の技術や製品を有する中堅・中小企業が多数存在しています。これらのグローバル化の方向性を考えます。	長岡大学経済経営学部 教授 権 五景
8	7/29	野生動物と人間の共存を めざして	野生動物と人間は新潟の自然を共有し、共存することが求められています。害獣ではなく山の恵みと捉える生き方を提案します。	長岡技術科学大学 工学研究科 准教授 山本 麻希
9	<b>公開</b> 8/19	新時代の人材育成に向けて —小林虎三郎の「米百俵の 精神」を手がかりに—	国にとっても地域にとっても人材育成は重要です。長岡市域に根付く「米百俵の精神」を軸にそのあり方を考えます。	長岡大学名誉教授 原 陽一郎
10	8/26	新潟の望ましい姿 —新たな地域社会を 目指して—	人口減は避けられないけれど、豊かな自然や文化などの地域特性を活かしつつ、「奪い合う」成長主義から「分かち合う」共生社会に新たな進むべき新潟の地域社会のあり方を考えます。	新潟国際情報大学長 平山 征夫

後期ゼミナール 平成29年10月～平成30年2月(土曜日午後4時～6時)予定

後期ゼミナールでは、長岡地域をはじめ全国各地での地域活性化の先進事例をふまえて、新潟市域の方向性やあり方を様々な側面から検討を加え、将来像を考えていきます。

# 人間理解 コース

## 思春期・青年期・成人期のこころの健康講座 — こころの健康問題と対策について考えよう —

### 趣 旨

こころが健やかに成長し、それを維持しながらその人らしい人生を生きることを誰もが願っています。しかし、不登校やひきこもり、成人期のうつ病などに見られるように、人の成長発達過程にはさまざまな困難が待ちうけており、うまく乗り越えられずにこころの健康を害することも少なくありません。この講座では、こころが健やかに成長し困難に立ち向かっていけるために必要なもの、次に不登校やひきこもり、発達障がいやうつ病などの実態や状態像、対策について学びます。さらに、こころの健康問題を乗り越えた方の体験談からその人らしく生きることについて考えます。



### 講座コーディネーター

新潟青陵大学大学院  
看護学研究科 教授  
齋藤 まさ子

### 学習方法

前期: 講義 ※後期ゼミナールは実施しません

### 受講料

10,000円

金曜日 午後7時～9時

### プログラム・指導講師

回	月日	テーマ	内容	講師
1	6/9	幼少期のこころの発達について	乳幼児期は、こころの発達にとって最も重要な時期です。この時期に、家族は何を大切にしておのかかわったらいのかを学びます。	新潟青陵大学短期大学部 幼児教育学科 准教授 梨本 竜子
2	6/16	思春期・青年期の心理的自立を考える	思春期・青年期は、この時期の発達課題である心理的自立とそれをめぐる人間関係に関連したさまざまな問題が生じます。これらについてどのように考えていくのか検討します。	新潟青陵大学大学院 臨床心理学研究科 教授 本間 恵美子
3	6/23	不登校になったときの支援について	不登校の子どものこころの実際と、状態改善のために家族をどう巻き込んでいくか、元養護教諭の体験から見てきた実際的な支援について学びます。	スクールカウンセラー 佐藤 真奈美
4	7/7	発達障がいを知る I (子ども)	発達障がい(自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、限局性学習症)と診断された子ども、ボーダー的な子どもの成長過程でのこころの健康について学びます。	認定NPO法人にいがた・ オーティズム 理事長 角田 千里
5	7/14	発達障がいを知る II (成人)	成人の発達障がいの実態について学びます。その上で、かわり方、自分が障がいと診断された場合はどう生きていくか、両側面から考える機会とします。	新潟市発達障がい支援 センター JOIN センター長 宮島 裕司
6	7/21	ひきこもり—予防と支援	ひきこもり状態にある人の心理的や生活面の実態や、生活を共にする家族の心理面を理解し、その予防や改善につながる支援について考えます。	新潟青陵大学大学院 看護学研究科 教授 齋藤 まさ子
7	7/28	こころの健康と医療	日常的にこころの健康問題に向き合っている医師から、現状とそこから見えてくる課題、治療の実際と今後の対策について学びます。	新潟市こころの健康 センター 所長 福島 昇
8	8/18	働く人のこころの健康 (メンタルヘルス)	働く人の心の健康(メンタルヘルス)を職場で管理する産業医の立場から、社会問題化した働く人のストレスとその対策について学びます。	新潟青陵大学大学院 看護学研究科 教授 中平 浩人
9	公開 8/25	うつ病とこころの健康	今やストレスフルな社会において、誰にでも起こりうるうつ病を中心に、認知行動療法を取り入れた心の健康法について学びます。	認知行動療法研修開発 センター 理事長 大野 裕
10	9/1	こころの健康を害した当事者の立場から	こころの健康を害しながらも、それを乗り越えた経験者が当時の体験を語ります。受講者と意見交換しながら、まわりの対応について考える機会とします。	【ファシリテーター】 新潟青陵大学大学院 看護学研究科 教授 齋藤 まさ子

# 人間理解 コース

## 講座コーディネーター

新潟大学人文学部 教授  
鈴木 光太郎

新潟国際情報大学情報文化学部 准教授  
伊村 知子

# 人間と動物のつながり — 動物が私たちに教えてくれること —

## 趣 旨

動物の行動を見ていて、不思議に思うことはありませんか？イカ、タコ、カラス、トキ、ネズミ、ネコ、イヌ、クマ、サル、チンパンジーなど、最先端の動物研究から明らかになった動物の行動と心について学びます。また、私たち人間も動物の一種であり進化の産物だという視点に立ち、動物の行動から「人間らしさ」とは何かを考えます。さらに、伴侶動物(ペット)や野生動物などの動物と人間との関係性についての社会問題を取り上げ、動物の目線から人間と動物の共生のヒントを探ります。

## 学習方法

前期: 講義

※後期ゼミナールは実施しません

## 受講料

10,000円

土曜日 午後1時～3時



## プログラム・指導講師

回	月日	テーマ	内 容	講 師
1	6/10	動物から世界を見る	動物の視点から世界を見てみます。これは私たち人間がどのような動物なのかを理解することにもつながります。	新潟大学人文学部 教授 鈴木 光太郎
2	6/17	イカ・タコの心を探る	無脊椎動物の中で最大の脳を持ち、海の霊長類とも呼ばれるイカやタコ。その生態や生活史、知性について学びます。	琉球大学理学部 教授 池田 譲
3	6/24	カラスとサルから探る文化の進化的起源	カラスやサルのユニークな行動を基に、行動とその伝播、さらには人間の文化とは何かについて学びます。	東北大学名誉教授・ 星槎大学大学院教育学 研究科 教授 仁平 義明
4	7/1	伴侶動物(ペット)とヒトのコミュニケーション	ネコは飼い主をどのように見ているのでしょうか。イヌとも比較しながら、伴侶動物(ペット)と人間の関わりについて考えます。	武蔵野大学教育学部 講師 齋藤 慈子
5	7/8	芸術の進化的起源: 人間はなぜ絵を描くのか	人間の子どもとチンパンジーの描く絵の違いについて、脳の機能や言語の獲得との関係から理解します。	京都造形芸術大学 文明哲学研究所 准教授 齋藤 亜矢
6	7/22	笑いの進化的起源: 人間はなぜ笑うのか	「笑う」のは人間だけでしょうか。チンパンジーの笑いや、遊びの事例から人間のコミュニケーションについて学びます。	京都西山短期大学 講師 松阪 崇久
7	8/19	クマやネズミの暮らす森と人間のかかわり	近年、クマが日本各地の市街地で出没するようになった理由や、野生動物と人間の共存、生態系の復元について学びます。	新潟大学農学部 教授 箕口 秀夫
8	<b>公開</b> 8/26	トキが暮らす佐渡の自然と人間	トキの生息数が減少した経緯や、トキの行動、生態から野生復帰に向けての取り組みについて学びます。	新潟大学研究推進機構 教授 永田 尚志
9	9/2	アフリカの森に棲むチンパンジーと人間の暮らし	異なる文化圏に暮らす人々はどのように野生動物と関わり、共存してきたのか、アフリカ(ギニア共和国、リベリア共和国)の事例から学びます。	中部大学人文学部 講師 大橋 岳
10	9/9	動物と人間のつながり: 動物から学ぶ	本講座を振り返り、様々な動物の行動から見えてくる「人間らしさ」とは何か、人間と動物の共生についてまとめます。	新潟国際情報大学 情報文化学部 准教授 伊村 知子

# 新潟学 コース

## 新潟の川・潟とくらし — 水との共生のあゆみ —

### 趣 旨

越後平野の開発では「水との闘い」が強調されていますが、歴史を紐解くと「水との共生」が基本であり、決して水を敵にしていたわけではありません。ただ、明治時代以降、近代的科学思想を導入してから自然を収奪・克服し、結果として公害という受難を受けました。本講座では、まず砂丘と信濃川・阿賀野川の関係から越後平野の成り立ちを確認し、水と人との関係を歴史的に考察し、21世紀の自然と人とのあり方を探求します。



### 講座コーディネーター

新潟大学名誉教授・  
新潟市潟環境研究所所長  
大熊 孝

### 学習方法

前期:講義 後期:ゼミナール

### 前期受講料

10,000円

火曜日 午後7時～9時

ただし、6月25日(日)は午後1時～5時に市民プラザで開催

### プログラム・指導講師

回	月日	テーマ	内容	講師
1	6/6	日本人の伝統的自然観と川・潟との共生	「山川草木悉有仏性」という考えから日本人の伝統的自然観を学び、今後の川・潟との付き合い方を考えます。	新潟大学名誉教授 大熊 孝
2	6/13	越後平野の成り立ちについて	越後平野の成因を地殻変動と気候変動の両面から捉えたうえで、平野の成り立ちと人の暮らしを、「砂丘」と「自然堤防」をキーワードに解説します。	新潟国際情報大学 国際学部 教授 澤口 晋一
3	6/25 (日)	近代文明の矛盾・水俣病を映画「阿賀に生きる」を鑑賞しながら考える	映画「阿賀に生きる」(佐藤真監督・1992年製作)を鑑賞し、近代が生み出した矛盾・水俣病について考え、近代的科学思想の反省のうえに、21世紀の哲学を探ります。 13:00～15:00 映画「阿賀に生きる」上映会 15:15～17:00 新潟水俣病と映画解説	「阿賀に生きる」カメラマン 小林 茂 新潟水俣病安田患者の会事務局長 旗野 秀人 新潟大学名誉教授 大熊 孝
4	7/4	越後平野の舟運網と新潟湊	信濃川・阿賀野川舟運網と日本海水運との結節点である新潟湊。その繁栄を支えた村と町の間接関係を学び、近世の新潟町の特徴を学びます。	新潟市歴史博物館 副館長 伊東 祐之
5	7/11	近世・近代の越後平野の開発とその功罪—湿地の穀倉化と新潟の都市計画—	日本海と越後平野の特徴から放水路群とポンプ群による開発の必然性を学び、越後平野の穀倉化を考えるとともに、新潟市の都市計画と大河津分水との関係を探ります。	新潟大学名誉教授 大熊 孝
6	7/18	明治時代の国家・社会の災害対応と「横田切れ」	明治21(1888)年の磐梯山噴火、同24(1891)年の濃尾地震、同29(1896)年の三陸津波など大災害が明治期の国家と社会に与えた影響を整理した上で、明治29年に新潟県で発生した「横田切れ」に際しての国家と社会の対応とその意味を改めて考えます。	新潟大学人文学部 准教授 中村 元
7	7/25	かろうじて残された潟群の保全と「ラムサール条約都市・新潟」への展望	ラムサール条約の基本思想であるワイズユース(賢明な利用)を学び、越後平野に残された潟群の特徴から自然と共生する「ラムサール条約都市・新潟」の可能性について展望します。	新潟大学名誉教授 大熊 孝
8	8/1	面白い! 「なつかしい未来潟遊び」の復活・創造物語	鳥屋野潟を巡る時代変化による潟と人との関係の変遷を学び、潟再生を漁業や舟運、舟遊び、アートなど贅沢な潟暮らし創造物語として考えます。潟遊びのコミュニティビジネス化、シェア型潟まちづくりなど潟未来へ恩送りの社会事業をともに考えます。	NPO新潟水辺の会 代表世話人 相楽 治
9	8/8	信濃川・千曲川に鮭の道を復活させる	近代的水力発電によって鮭が生息できなくなった信濃川・千曲川に鮭を復活させる過程を学び、新たな川と人との関係を考えます。	新潟大学名誉教授 大熊 孝
10	8/22	新潟水害(2004・2011)の教訓と今後の治水のあり方	ダムがありながら堤防破堤に由来する水害を反省し、ダムの限界を認識しつつ、破堤しにくい堤防による治水を考えます。	新潟大学名誉教授 大熊 孝

### 後期ゼミナール 平成29年10月～平成29年12月(火曜日午後7時～9時)予定

後期ゼミナールは、平成29年10月から12月までの間で、川・潟めぐりツアー(2回程度)や鳥屋野潟の活用に関するワークショップを行います。



# 生命・ 自然科学 コース

# ロボットと生きる

## 趣 旨

アニメや映画の中の存在としてのロボットが生まれて半世紀以上が経ちます。夢の存在としてのロボットはまだ実現されていませんが、多くの技術者がその夢を原動力に、技術開発をしてきました。その結果、産業用設備から家庭用掃除機まで、いつの間にか「ロボット化」されたモノが社会にあふれ、私たちの身近な存在として、共生を考える時代になっています。本講座ではロボットを形作る中身の技術や現状の課題に触れながら、その基本的な知識から応用分野までを広く学びます。ロボットへの期待や夢、社会への必要性を楽しく学び、理解を深めてみませんか。



## 講座コーディネーター

新潟大学工学部 准教授  
今村 孝

## 学習方法

前期：講義 後期：ゼミナール

## 前期受講料

10,000円

土曜日 午前10時～12時

## プログラム・指導講師

回	月日	テーマ	内容	講師
1	6/10	<ロボット入門> SFやアニメの世界から現実 のロボットまで	ロボットは昔、SF世界の存在でした。この半世紀のロボットの活躍を振り返りながら実現への課題を考えます。	新潟大学工学部 准教授 今村 孝
2	6/17	<ロボットを分解する> ロボットの中身を 観てみよう	ロボットを分解し、構成要素や機能と、その仕組みや工夫を知り、これから学ぶロボット技術を理解する手がかりとします。	国立高等専門学校機構 仙台高等専門学校 名誉教授 大泉 哲哉
3	6/24	<ロボットの動き> その動作原理と多様さ	ロボットを特徴づけるさまざまな運動のメカニズムと制御について学びます。	新潟大学工学部 准教授 横山 誠
4	7/1	<ロボットの感覚> 何を感じて どう処理するのか	ロボットの感覚器であるセンサとデータ処理法について、ヒトと比べながら学びます。	新潟大学工学部 教授 林 豊彦
5	7/15	<ロボットの知能> 認識して判断する 学習の仕組み	環境の認識と判断をし、学習する「知能」とは何でしょうか？ロボットの「学び」の手法をひもときます。	新潟大学工学部 教授 山崎 達也
6	7/22	<ロボットと支援> ロボットは人をどう サポートするか	重力を巧みに利用したロボット技術が、自然でやさしい支援を人にもたらせるか学びます。	名古屋工業大学つくり領域 教授 佐野 明人
7	<b>公開</b> 8/19	<公開講座：共生社会> スマートホスピタルに向け ての介護ロボット研究	病院や福祉・介護の担い手として人と共生するロボットを通して、近い将来の共同生活をイメージしてみましよう。	豊橋技術科学大学機械 工学系 教授/副学長 寺嶋 一彦
8	8/26	<ロボットと産業> ロボットはもの作りを どう変えたか	日本の得意分野のひとつが産業用ロボットです。その仕組みとそれが生産現場をどう変えたかについて学びます。	新潟工科大学機械制御 システム工学科 教授 中嶋 新一
9	9/2	<ロボットとサービス> ロボットがつくる 新しいサービスとは	ロボットはサービス産業にも進出しています。将来の人手不足をロボットが解決してくれるのでしょうか。	東京大学生産技術研究所 特任助教 タン ジェフリー
10	9/9	<総括> ロボットとともに生きる	SFやアニメ、現実の状況を通して、「ロボットとは何なのか」「どう共生していけるのか」について考えてみましょう。	新潟大学工学部 准教授 今村 孝

後期ゼミナール 平成29年10月～平成30年2月(土曜日午前10時～12時)予定

後期では、ロボット製作の基礎となる部品の設計や加工技術、コンピュータやセンサを用いた基本技術を体験しながら、小型のロボットの作り方、動かし方を学びます。

## 講座受講申込方法

裏表紙にある受講申込書に必要事項をご記入の上、直接お持ちいただくか、郵便又はFAXで、にいがた市民大学事務局あてにお送りください。また、ホームページや携帯電話からもお申し込みできます。

- 対 象**:新潟市に在住、在勤、在学する方
- 締め切り**:平成29年5月7日(日) ※消印有効
- 受講の決定**:応募者多数の場合は、抽選となります。

※受講決定のお知らせは、5月下旬頃に発送する予定です。

※講座受講生は、入学式兼公開講演会に無料でご参加いただけます。

裏表紙申込書中、「入学式に 出席する 出席しない」のいずれかに✓を記入してください。  
講座受講決定のお知らせと共に、入学式兼公開講演会のご案内をお送りする予定です。

### 申込先

#### にいがた市民大学事務局(新潟市生涯学習センター学習推進班)

〒951-8055 新潟市中央区礎町通3ノ町2086番地

TEL:025-224-2088 FAX:025-223-4572

ホームページ:  で

携帯電話: 右のQRコードを読み込むと申し込み画面につながります。

※お申し込みの際にご記入いただいた個人情報については、ご連絡のためだけに利用させていただきます。



## 入学式兼公開講演会のみ参加を希望される方を一般募集します

【**対 象**】 新潟市に在住・在勤・在学の方

【**定 員**】 100人(要申込、未就学児入場不可)

【**受講料**】 有料:500円

【**申込先**】 新潟市役所コールセンターへ 電話:025-243-4894 (FAX:025-244-4894)

受付期間:平成29年3月26日(日)～4月23日(日)

受付時間:8:00～21:00(年中無休)

※申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。

※お申し込みの際にご記入いただいた個人情報については、ご連絡のためだけに使用させていただきます。

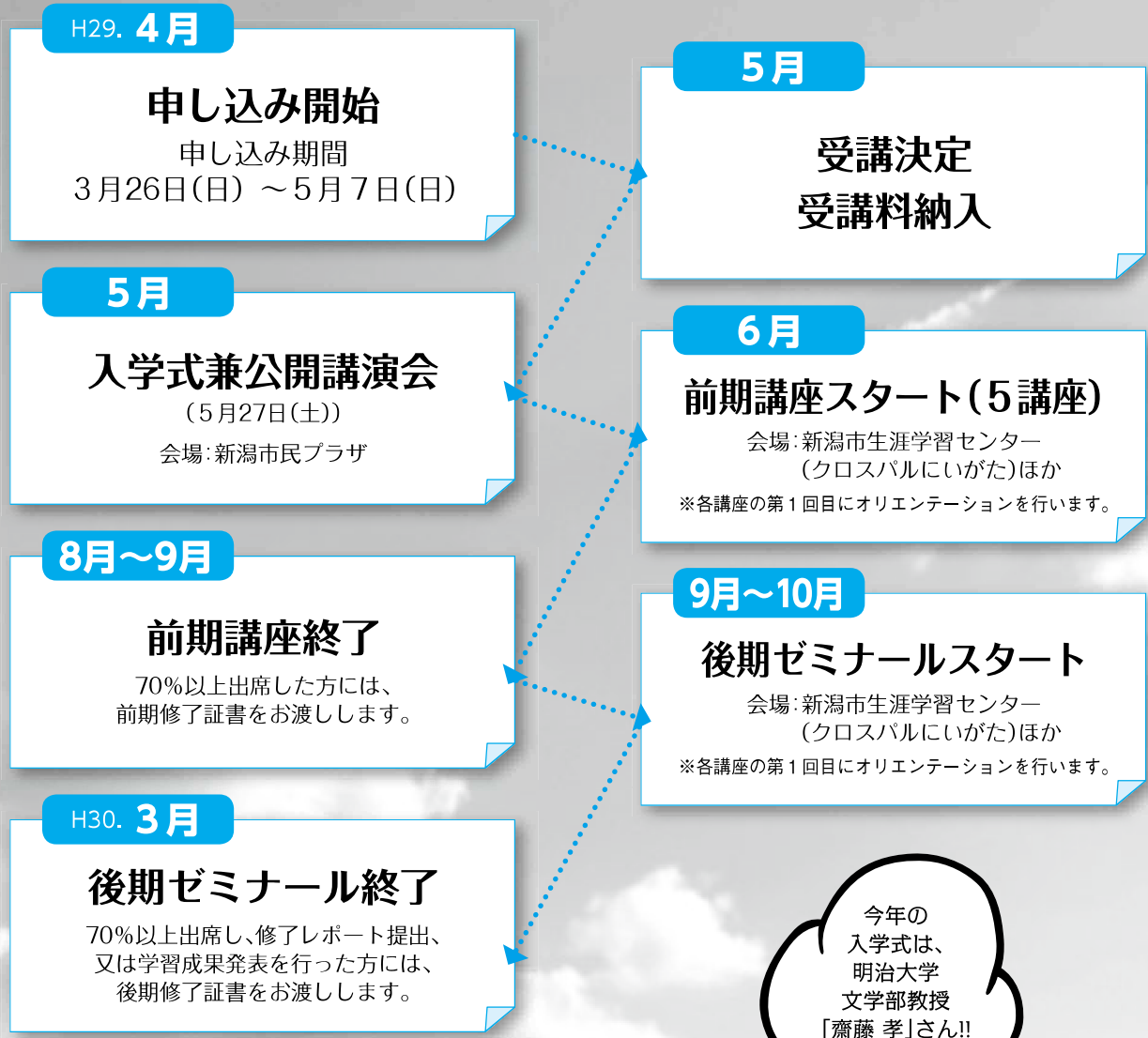
【**申込方法**】 参加希望者全員の①氏名 ②ふりがな ③郵便番号 ④住所 ⑤連絡先電話番号 について、上記申込先へお申し込みください。

### 【入学式のご案内】

5月中旬頃に、受講料納付書と一緒に入学式兼公開講演会のご案内をお送りする予定です。



# にいがた市民大学 受講の流れ 日程



今年の  
 入学式は、  
 明治大学  
 文学部教授  
 「齋藤 孝」さん!!

## にいがた市民大学の様子



前期講座は、クロスパルにいがたの映像ホールで学習します。

後期講座は、ゼミ形式の学習で、前期講座の内容を深めます。



後期ゼミでは、現地学習で外へ飛び出すこともあります。



# 第23期(平成29年度) にいがた市民大学公開講座一覧

## 今年度は、全講座で公開講座を実施します!!

10回の連続講座のうち、1回を公開講座として開催します。

お申し込みにつきましては、市報、ホームページでお知らせします。

受講料各 1,000円

※高校生以下無料

6/25(日)

午後1時～5時

新潟の川・潟とくらし

— 水との共生のあゆみ —

近代文明の矛盾・水俣病を映画「阿賀に生きる」を鑑賞しながら考える

講師:「阿賀に生きる」カメラマン 小林 茂  
新潟水俣病安田患者の会事務局長 旗野 秀人  
新潟大学名誉教授 大熊 孝  
会場:新潟市民プラザ

8/25(金)

午後7時～9時

思春期・青年期・成人期の  
こころの健康講座

— こころの健康問題と対策について考えよう —

うつ病とこころの健康

講師:認知行動療法研修開発センター 理事長  
大野 裕  
会場:新潟市民プラザ

8/19(土)

午前10時～12時

ロボットと生きる

スマートホスピタルに向けての介護ロボット研究

講師:豊橋技術科学大学機械工学系 教授/副学長 寺嶋 一彦  
会場:新潟市民プラザ

8/26(土)

午後1時～3時

人間と動物のつながり

— 動物が私たちに教えてくれること —

トキが暮らす佐渡の自然と人間

講師:新潟大学研究推進機構 教授  
永田 尚志  
会場:新潟市民プラザ

8/19(土)

午後4時～6時

2050年の新潟市を展望する

— 次世代の地域活性化への処方箋 —

新時代の人材育成に向けて  
— 小林虎三郎の「米百俵の精神」を手がかりに —

講師:長岡大学名誉教授 原 陽一郎  
会場:新潟市民プラザ

公開講座の会場は  
「新潟市民プラザ」です。

## 「にいがた市民大学」運営委員会

平成29年4月1日現在

～ 「にいがた市民大学」の講座の内容について企画・検討しています～

学 長	荒川 正昭	(新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター長)
運営委員長	中平 浩人	(新潟青陵大学大学院看護学研究科教授・図書館長)
運 営 委 員	伊村 知子	(新潟国際情報大学情報文化学部准教授)
(50音順)	卜部 厚志	(新潟大学災害・復興科学研究所准教授)
	喜嶋奈津代	(新潟市會津八一記念館主査学芸員)
	立山 千草	(新潟県立大学人間生活学部教授)
	長谷川雪子	(新潟大学経済学部准教授)
	林 豊彦	(新潟大学自然系・教授/大学院自然科学研究科/工学部工学科・人間支援感性科学プログラム)
	増山由美子	(株新潟放送編成局長兼番組審議会事務局長)

(任期:平成28年4月1日～平成30年3月31日)

## にいがた市民大学 単位制度について

### ▶にいがた市民大学単位制度とは!?

★修了された講座数(単位数)により、にいがた市民大学独自の学位[にいがた市民大学学士・修士・博士]に認定します(希望者)。認定証贈呈のほか、その栄誉を称え希望者には翌年度以降のにいがた市民大学募集案内にお名前を掲載いたします。

### ▶にいがた市民大学の単位の認定

★1講座を修了されるごとに、前期1単位、後期1単位を認定します。  
(※ 単位認定は平成24年度(第18期)以降のにいがた市民大学の講座を対象とします。)

### ▶にいがた市民大学の学位認定に必要な単位

★にいがた市民大学博士:15単位(うち3単位は後期を含む)  
にいがた市民大学修士:10単位(うち2単位は後期を含む)  
にいがた市民大学学士:5単位(うち1単位は後期を含む)

～ 詳しい手続き方法は、にいがた市民大学事務局へお問い合わせください ～

## にいがた市民大学 学位認定者をご紹介します!

にいがた市民大学の学位	認定者のお名前 又はペンネーム(敬称略・認定順)
にいがた市民大学博士	—
にいがた市民大学修士	—
にいがた市民大学学士	大畑 茜、伊原 敏春、高橋 昭巳

※平成29年1月までの認定者

## — 講座申し込み方法 —

第23期「にいがた市民大学」受講申込書は裏面にあります。必要事項をご記入の上、切り取って直接お持ちいただくか、郵送又はFAXで、にいがた市民大学事務局あてにお送りください。ホームページや携帯電話からもお申し込みできます。

ホームページからのお申し込みは  で

携帯電話からのお申し込みは、右のQRコードを読み込むと申し込み画面につながります。



# にいがた市民大学「市民提案講座」を募集します！

平成29年度(第23期)にいがた市民大学「市民提案講座」を募集します。

にいがた市民大学に受講者として参加するだけでなく、皆さんの「学びたい!」「知りたい!」内容のテーマや概要を提案し、講座の企画にも参加してみませんか。

多くの皆さんからのご提案をお待ちしています。

《応募締切日》 平成29年5月7日(日)まで (※当日消印有効)

「市民提案講座」募集案内は、生涯学習センター、市役所本館、白山浦庁舎、各区役所・出張所、公民館などで配布しています。詳しくは、「市民提案講座」募集案内をご覧ください。

**問合せ先** にいがた市民大学事務局(新潟市生涯学習センター学習推進班)

〒951-8055 新潟市中央区礎町通3ノ町2086番地 クロスパルにいがた  
TEL : 025-224-2088 FAX : 025-223-4572 (第4月曜休館)

## 《「市民提案講座」講座決定・開講までの流れ》





# 第23期(平成29年度)「にいがた市民大学」受講申込書

\*\*\* 該当する□に✓印をつけ、すべての項目について記入してください \*\*\*

<b>1 希望講座</b> (受講希望する講座の欄に✓をご記入ください。)		
<input type="checkbox"/>	現代の社会問題コース (大学コンソーシアム連携講座)	2050年の新潟市を展望する — 次世代の地域活性化への処方箋 —
<input type="checkbox"/>	人間理解コース	思春期・青年期・成人期のこころの健康講座 — こころの健康問題と対策について考えよう —
<input type="checkbox"/>	人間理解コース	人間と動物のつながり — 動物が私たちに教えてくれること —
<input type="checkbox"/>	新潟学コース	新潟の川・潟と暮らし — 水との共生のあゆみ —
<input type="checkbox"/>	生命・自然科学コース	ロボットと生きる
<b>2 入学式</b>	<input type="checkbox"/> 出席する <input type="checkbox"/> 出席しない	
<b>3 氏名</b>	フリガナ ----- ----- -----	
<b>4 年齢</b>	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代 <input type="checkbox"/> 80歳以上	
<b>5 住所</b>	〒 _____ _____ _____	
※ 市外にお住まいの方は、下記に勤務先等の所在地を記入してください。 ≪勤務先・学校等≫ <u>新潟市</u>		
<b>6 連絡先</b>	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先・学校等      電話番号(      )      - F A X(      )      - E-mail _____	
<b>7 にいがた市民大学の受講経験</b>	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	

※お申し込みの際にご記入いただいた個人情報については、市民大学のご連絡のためのみに利用させていただきます。

◎ 申し込み締め切りは **平成29年5月7日(日)消印有効** です。

FAX 025-223-4572 (にいがた市民大学事務局)

※ホームページからもお申し込みできます。

キ  
リ  
ト  
リ

新潟市の生涯学習情報はこちらから

新潟市 生涯学習・社会教育

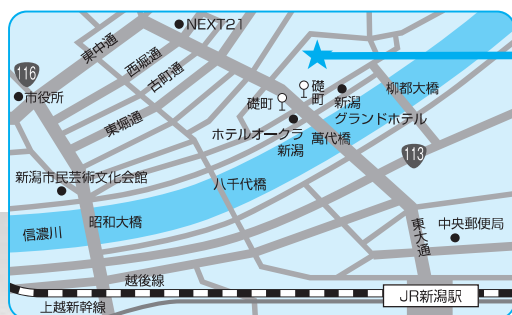
検索



URL

<http://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/manabishogaku/index.html>

## にいがた市民大学会場案内図 《新潟市生涯学習センター（クロスパルにいがた）》



TEL:025-224-2088



### 交通案内

JR新潟駅万代口より  
徒歩:20分程度  
バス:古町方面行き  
礎町又は本町下車 徒歩 3~5分

### 駐車場 (29台)

利用料金:最初の30分無料。  
以後30分毎に150円  
※ご来館はできるだけ公共交通機関  
をご利用ください。

### 〈問合せ先〉

にいがた市民大学事務局(新潟市生涯学習センター学習推進班)

〒951-8055 新潟市中央区礎町通3ノ町2086番地 クロスパルにいがた  
TEL:025-224-2088 FAX:025-223-4572 (第4月曜休館)



市民が共に育つ  
教育文化都市  
NIIGATA